

補助・融資

住宅省エネ2024キャンペーン①

子育てエコホーム支援事業

子育て世帯または若者夫婦世帯が取得する長期優良住宅またはZEH住宅についての注文住宅の新築・新築分譲住宅の購入と、世帯を問わず省エネ改修工事を実施するリフォームが対象です。

子育て世帯または若者夫婦世帯による住宅の新築

以下の①、②いずれかに該当する住宅が対象です。

子育て世帯^{*1}または若者夫婦世帯^{*2}が自ら居住することを目的に所有者となることが条件です。

①長期優良住宅

- ・長期にわたり良好な状態で使用するための措置が設けられている住宅で、所管行政庁にて認定を受けたもの

②ZEH住宅

- ・強化外皮基準に適合し、再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量が削減される性能を有するもの(ZEH、Nearly ZEH、ZEH Ready、ZEH Oriented)

※1 子育て住宅とは、申請時点において、子(令和5年4月1日時点で18歳未満。すなわち平成17(2005)年4月2日以降出生の子)を有する世帯。

※2 若者夫婦世帯とは、申請時点において夫婦であり、令和5年4月1日時点でいずれかが39歳以下(すなわち昭和58(1983)年4月2日以降出生)の世帯。

100万円/戸

80万円/戸

住宅のリフォーム工事

①～③のいずれか必須

①開口部の断熱改修

- ・ガラス交換、内窓設置、外窓交換、ドア交換

②外壁、屋根・天井または床の断熱改修

③エコ住宅設備の設置

①～③と併せて実施した場合に対象

④子育て対応改修 ⑦空気清浄機能・換気機能付きエアコンの設置

⑤防災性向上改修 ⑧リフォーム瑕疵保険の加入

⑥バリアフリー改修

●同一のリフォーム工事が、①～⑧の複数に該当する場合、いずれか高い補助額のみを合算します。

●上記の必須工事①～③のいずれかを行うことが必要となります。

●1申請当たりの合計補助額が5万円未満の場合は申請できません。

●ただし「先進的窓リノベ2024事業」や「給湯器省エネ2024事業」、「賃貸集合給湯省エネ2024事業」を申請する場合は、「子育てエコホーム支援事業」の必須工事を含んでいるとみなされ、さらに、合計補助額が2万円以上あれば申請可能です。

リフォーム工事内容に応じて定める額
最大20万～60万円/戸

子育て世帯または若者夫婦世帯の場合

長期優良住宅の認定

最大45万円/戸

既存住宅購入を伴う場合は、

最大60万円/戸

(詳細は下表参照)

リフォームの補助額上限について

世帯の属性	子育て世帯 ^{*1} または若者夫婦世帯 ^{*2}			その他の世帯(法人・管理組合を含む)		
	既存住宅購入・長期優良住宅の有無	既存住宅を購入 ^{*3} ・リフォームを行う場合 ^{*5}	長期優良住宅の認定(増築・改築)を受ける場合 ^{*6}	左記以外のリフォームを行う場合 ^{*6}	長期優良住宅の認定(増築・改築)を受ける場合	左記以外のリフォームを行う場合
1戸あたりの上限補助額		60万円	45万円	30万円	30万円	20万円

※1 子育て世帯とは、申請時点において、子(2023年4月1日時点で18歳未満。すなわち2005年4月2日以降出生)を有する世帯。ただし、2024年3月末までに工事着手する場合においては、2022年4月1日時点で18歳未満(すなわち2004年4月2日以降出生)の子。 ※2 若者夫婦世帯とは、申請時点において夫婦であり、2023年4月1日時点でいずれかが39歳以下(すなわち1983年4月2日以降出生)の世帯。ただし、2024年3月末までに工事着手する場合においては、2022年4月1日時点でいずれかが39歳以下(すなわち、1982年4月2日以降出生)の世帯。 ※3 売買契約額が100万円(税込)以上であること。 ※4 2023年11月2日(令和5年度経済対策閣議決定日)以降に売買契約を締結したものに限り。 ※5 自ら居住することを目的に購入する住宅について、売買契約締結から3ヶ月以内にリフォーム工事の請負契約を締結する場合に限る。 ※6 自ら居住する住宅でリフォーム工事を行う場合に限る。

制度期限▶交付申請期間:2024年3月中下旬～予算上限に達するまで
(遅くとも2024年12月31日まで)

リフォーム対象工事の補助額は 開口部やエコ住宅設備で前年からアップも

リフォーム対象工事内容と補助金額

必須工事 以下の①～③のいずれかのリフォーム工事が必須です。

①開口部(窓・ドア)の断熱改修

○断熱改修工事は、地域区分ごとの断熱性能(ZEHレベル・省エネ基準レベル)で、補助金額が変わります。

工事の種類	ガラス交換 既存窓を利用して、 ガラスを複層ガラスに交換	内窓設置 既存窓の内側に 新たな窓を設置	外窓交換 既存窓を取り除き 新たな窓に交換	ドア交換 既存ドアを取り除き 新たなドアに交換
ZEH レベル	大 1.4㎡以上 14,000円/枚	大 2.8㎡以上 34,000円/箇所	大 2.8㎡以上 34,000円/箇所	大 49,000円/箇所 開戸:1.8㎡以上 引戸:3.0㎡以上
	中 0.8㎡以上 1.4㎡未満 10,000円/枚	中 1.6㎡以上 2.8㎡未満 27,000円/箇所	中 1.6㎡以上 2.8㎡未満 27,000円/箇所	小 43,000円/箇所 開戸:1.0㎡以上 1.8㎡未満 引戸:1.0㎡以上 3.0㎡未満
	小 0.1㎡以上 0.8㎡未満 4,000円/枚	小 0.2㎡以上 1.6㎡未満 22,000円/箇所	小 0.2㎡以上 1.6㎡未満 22,000円/箇所	
省エネ基準 レベル	大 1.4㎡以上 11,000円/枚	大 2.8㎡以上 25,000円/箇所	大 2.8㎡以上 25,000円/箇所	大 37,000円/箇所 開戸:1.8㎡以上 引戸:3.0㎡以上
	中 0.8㎡以上 1.4㎡未満 8,000円/枚	中 1.6㎡以上 2.8㎡未満 20,000円/箇所	中 1.6㎡以上 2.8㎡未満 20,000円/箇所	小 32,000円/箇所 開戸:1.0㎡以上 1.8㎡未満 引戸:1.0㎡以上 3.0㎡未満
	小 0.1㎡以上 0.8㎡未満 3,000円/枚	小 0.2㎡以上 1.6㎡未満 17,000円/箇所	小 0.2㎡以上 1.6㎡未満 17,000円/箇所	

※ガラス交換は交換するガラスの1枚あたり。

○開口部の断熱改修で必要な性能

改修後の開口部の熱貫流率(U値)が、次の表の基準値以下となる断熱改修を対象とします。

区分	対象	地域区分ごとの熱貫流率の基準値(単位:W/m ² ・k)							
		1地域 (名寄)	2地域 (札幌)	3地域 (盛岡)	4地域 (長野)	5地域 (新潟)	6地域 (東京)	7地域 (鹿児島)	8地域 (沖縄)
ZEHレベル	戸建住宅	1.9	1.9	1.9	2.3	2.3	2.3	2.3	—
	共同住宅	1.9	1.9	2.3	2.9	2.9	2.9	2.9	—
省エネ基準 レベル	戸建住宅	2.3	2.3	2.3	3.5	4.7	4.7	4.7	—
	共同住宅	2.3	2.3	2.3	3.5	4.7	4.7	4.7	—

※()内は代表的な都市。

②外壁・屋根・天井または床の断熱改修

ZEH レベル	外壁	151,000円/戸	(75,000円/戸)
	屋根・天井	54,000円/戸	(27,000円/戸)
	床	92,000円/戸	(46,000円/戸)
省エネ基準 レベル	外壁	112,000円/戸	(56,000円/戸)
	屋根・天井	40,000円/戸	(20,000円/戸)
	床	72,000円/戸	(36,000円/戸)

※()内は部分断熱の場合を示す。

③エコ住宅設備の設置

高断熱浴槽	30,000円/戸	節水型トイレ	掃除しやすい機能を有するもの	22,000円/台
高効率給湯器	30,000円/戸		上記以外	20,000円/台
太陽熱利用システム	30,000円/戸	節湯水栓		5,000円/台
蓄電池	64,000円/戸			

注 /戸:設置台数によらず、設置を行った設備の種類に応じた補助額とする。
/台:設備の種類に応じた補助額に設置台数を乗じた補助額とする。



補助・融資

リフォーム対象工事内容と補助金額

任意工事

任意工事は、P 9の必須工事①～③のいずれかとあわせて実施した場合に、補助金申請の対象となります。

- ※ 「先進的窓リノベ2024事業」や「給湯省エネ2024事業」、「賃貸集合給湯省エネ2024事業」を申請する場合は、必須工事を含んでいるとみなされ、①～③の合計補助額が2万円以上あれば申請可能です。
- ※ 1つの工事に対して重複して補助を受けることはできません。
- ※ ④の子育て対応改修と⑤防災性向上改修に該当する開口部の改修のうち、①の開口部の断熱改修の基準を満たすものは、必須工事を実施しているものとして扱います。

④子育て対応改修

●防犯性の向上に資する開口部の改修

外窓交換			ドア交換		
既存窓を取り除き新たな窓に交換			既存ドアを取り除き新たなドアに交換		
大	2.8㎡以上	37,000円/箇所	大	開戸:1.8㎡以上 引戸:3.0㎡以上	54,000円/箇所
中	1.6㎡以上 2.8㎡未満	26,000円/箇所	小	開戸:1.0㎡以上 1.8㎡未満 引戸:1.0㎡以上 3.0㎡未満	38,000円/箇所
小	0.2㎡以上 1.6㎡未満	22,000円/箇所			

●生活騒音への配慮に資する開口部の改修

ガラス交換			内窓設置			外窓交換			ドア交換		
既存窓を利用して、ガラスを複層ガラスに交換			既存窓の内側に新たな窓を設置			既存窓を取り除き新たな窓に交換			既存ドアを取り除き新たなドアに交換		
大	1.4㎡以上	11,000円/枚	大	2.8㎡以上	25,000円/箇所	大	2.8㎡以上	25,000円/箇所	大	開戸:1.8㎡以上 引戸:3.0㎡以上	37,000円/箇所
中	0.8㎡以上 1.4㎡以上	8,000円/枚	中	1.6㎡以上 2.8㎡未満	20,000円/箇所	中	1.6㎡以上 2.8㎡未満	20,000円/箇所	小	開戸:1.0㎡以上 1.8㎡未満 引戸:1.0㎡以上 3.0㎡未満	32,000円/箇所
小	0.1㎡以上 0.8㎡未満	3,000円/枚	小	0.2㎡以上 1.6㎡未満	17,000円/箇所	小	0.2㎡以上 1.6㎡未満	17,000円/箇所			

※ガラス交換はガラス1枚あたり。

●家事負担軽減に資する住宅設備の設置

浴室乾燥機	23,000円/戸	
ビルトイン食器洗機	21,000円/戸	
ビルトイン自動調理対応コンロ	14,000円/戸	
掃除しやすいレンジフード	13,000円/戸	
宅配ボックス	住戸専用 ^{※1}	11,000円/戸
	共用	11,000円/ボックス ^{※2}

※1 共同住宅においては、単数のボックスなど当該住戸用に独立して設置された宅配ボックスに限ります。

※2 最大20ボックスまで。

●キッチンセットの交換を伴う対面化改修

キッチンセットの交換を伴う対面化改修	90,000円/戸
--------------------	-----------

※本項目で補助金が交付される場合、家事負担軽減設備の「掃除しやすいレンジフード」及び「ビルトイン自動調理対応コンロ」について補助を受けることはできません。



キッチンセットの交換を伴う対面化改修

制度期限▶交付申請期間:2024年3月中下旬～予算上限に達するまで
(遅くとも2024年12月31日まで)

リフォーム対象工事内容と補助金額

任意工事

任意工事は、P 9の必須工事①～③のいずれかとあわせて実施した場合に、補助金申請の対象となります。

- ※ 「先進的窓リノベ2024事業」や「給湯省エネ2024事業」、「賃貸集合給湯省エネ2024事業」を申請する場合は、必須工事を含んでいるとみなされ、①～⑧の合計補助額が2万円以上あれば申請可能です。
- ※ 1つの工事に対して重複して補助を受けることはできません。
- ※ ④の子育て対応改修と⑤防災性向上改修に該当する開口部の改修のうち、①の開口部の断熱改修の基準を満たすものは、必須工事を実施しているものとして扱います。

⑤防災性向上改修

防災性の向上に資する開口部の改修工事(以下の基準を満たすもの)を対象とします。

「JIS R 3109-2018 建築用ガラスの防風時における飛来物衝突試験方法」に基づき実施する試験により、屋根瓦の破片相当以上の飛来物の衝突に対して安全性を有することが確認された合わせガラス又は合わせ複層ガラスであること。

ガラス交換	大	1.4㎡以上	17,000円/枚
既存窓を利用して、 ガラスを複層ガラスに交換	中	0.8㎡以上 1.4㎡以上	12,000円/枚
	小	0.1㎡以上 0.8㎡未満	7,000円/枚

外窓交換	大	2.8㎡以上	41,000円/箇所
既存窓を取り除き 新たな窓に交換	中	1.6㎡以上 2.8㎡未満	27,000円/箇所
	小	0.2㎡以上 1.6㎡未満	16,000円/箇所

※ガラス交換はガラスの面積、外窓交換は枠外寸法を測定。 ※ガラス交換はガラス1枚あたり。

⑥バリアフリー改修

手すりの設置	5,000円/戸
段差解消	7,000円/戸
廊下幅等の拡張	28,000円/戸
衝撃緩和畳の設置	20,000円/戸

⑦空気清浄機能・換気機能付きエアコンの設置

エアコンの冷房能力	3.6kW以上	26,000円/台
	2.2kW超～3.6kW未満	23,000円/台
	2.2kW以下	19,000円/台

⑧リフォーム瑕疵保険への加入

リフォーム瑕疵保険又は大規模修繕工事瑕疵保険への加入	7,000円/契約
----------------------------	-----------

省エネ・断熱

バリアフリー

耐震

省エネ基準

長期優良

低炭素

ZEH

